不正アクセスによる「情報セキュリティ理解度チェックサービス」からの利用者個人情報漏えいに関するお知らせ（第二報）

2026 年 11 月 6 日に公表いたしました、当協会が運営する「情報セキュリティ理解度チェックサービス」への不正アクセス事案につきまして、その後の外部専門事業者の協力のもと影響範囲の調査を進めた結果、判明した内容をお知らせいたします。

１．調査結果について

不正アクセスにより漏えいした可能性がある情報の対象件数は、第一報でお知らせした最大 15,128 件から、8,388 件であることを確認いたしました。

また、第一報では漏えいの可能性がある情報として利用者の ID およびパスワードを含めておりましたが、利用者の ID およびパスワードについては漏えいの対象となっていないことを確認いたしました。

現時点で漏えいの可能性があることを確認している情報は以下のとおりです。

① 管理者氏名
② 管理者企業名
③ 管理者メールアドレス
④ 組織所在地、従業員数、業種
⑤ 利用ユーザ数

なお、調査は継続しており、新たな事実が確認された場合には速やかに公表いたします。

本件につきましては、11 月 6 日（金）に個人情報保護委員会への報告を完了しており、11 月 9 日には所轄警察署への被害申告を完了しています。今後の関係機関による調査・捜査にも協力してまいります。

２．対象となる皆様への対応

漏えいの可能性が確認された利用者の皆様に対しては、順次個別にご連絡を差し上げます。

また、メールアドレスが漏えいした可能性があることから、当協会や関係機関を装ったメールが送信されるおそれがあります。不審なメールを受信した場合は、メール本文中のリンクや添付ファイルを開かず、送信元を十分にご確認くださいますようお願いいたします。

当協会が電子メールに記載したリンク先で ID やパスワードの入力や変更を求めることはありません。そのような内容のメールを受信した場合は十分にご注意ください。

３．サービス再開について

サービス再開時期は現在のところ未定です。安全性の確認および再発防止対策の実施後に再開を判断いたします。

４．お詫びと今後の対応

ご利用の皆様ならびに関係者の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを改めて深くお詫び申し上げます。

当協会では、引き続き外部専門事業者と連携しながら原因究明および再発防止策の検討・実施を進めてまいります。今後、追加でお知らせすべき事項が判明した場合には、当協会 Web サイトにて速やかに公表いたします。

2026 年 11 月 13 日

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会
（お問合せ先：sec@jnsa.org）

※（参考）JNSA セキュリティ理解度チェック管理者とは、社員や職員のセキュリティモラル・リテラシーの向上、および組織全体の客観的な知識レベルを把握する目的で、組織の管理者が事前に受講者（社員・職員）を登録し、サイト上で情報セキュリティに関する問題を受講させて、結果を分析できるサービスです。管理者以外の受講者は、個人名を使わずに「利用者 ID」などで管理できます。